

---

# 町内会・自治会における広報活動調査

— 道内町内会連合会を事例に —

---

2021年6月

松本行真(近畿大学)

1. 調査概要	2
2. 平時の広報実態	3
3. 有事対応 胆振東部地震	5
4. 有事対応 新型コロナウイルス	10
5. 町内会連合会運営における広報上の課題	15
6. メディア評価と期待	18
7. 情報収集・共有・発信の課題	22
8. 連携による情報収集・共有・発信へ	27

## 1. 調査概要

## 調査目的・対象・方法・期間

## (1) 調査目的

各媒体を通じて町内会連合会が各組織等と連携してどのような情報収集・共有・発信を行っているのか、また各媒体にどのような情報発信を求めているかを把握する。

## (2) 調査項目

- ① 平時の情報発信の方法
- ② 有事(胆振東部地震、新型コロナ)の情報収集・発信実態
- ③ 情報収集・共有・発信に関する意識

## (3) 調査対象者・方法・期間

- ① 対象者:道内町内会連合会事務局・会長
- ② 方法:郵送による質問紙調査
- ③ 期間:2021年1月～2月
- ④ 回収結果:道町連加盟組織のうち145s(72.9%)  
コミュニティFM可聴エリア「内/外」:44s/101s

## 回収結果

回収結果は以下の通り(回収率72.9%)。

振興局	回収数	構成比
合計	145	100.0
空知	11	7.6
石狩	41	28.3
後志	6	4.1
胆振	10	6.9
日高	9	6.2
渡島	10	6.9
檜山	7	4.8
上川	6	4.1
留萌	4	2.8
宗谷	5	3.4
オホーツク	15	10.3
十勝	8	5.5
釧路	7	4.8
根室	6	4.1

以下のクロス集計表については比率に関する両側検定を行い、全体に対して差があるものについて、

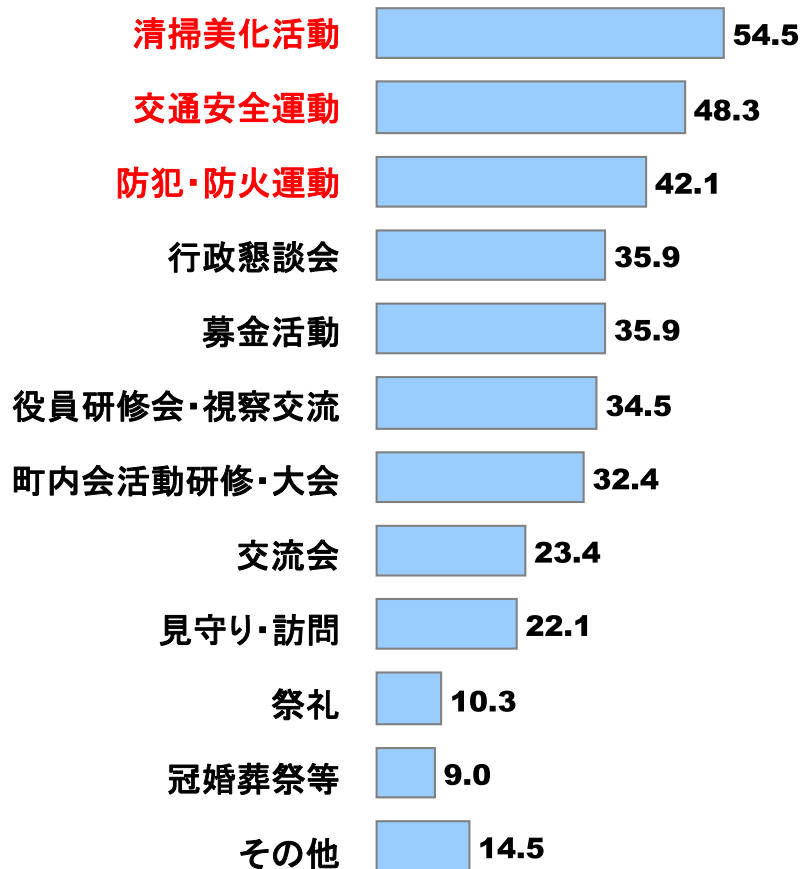
▲▼:1%有意、△▽:5%有意、↑↓:10%有意、∴∴:20%有意  
という表記にする。

## 2. 平時の広報実態

### (1) 平時の町内会連合会活動

- 2019年度における町内会連合会の広報実態について確認する。
- 実施した活動・行事は「清掃美化活動」(54.5)、「交通安全運動」(48.3)、「防犯・防火運動」(42.1)が上位3項目である。
- 地区・規模別で見ると、「5万以上」の自治体にある町内会連合会で活動個数が多く(4.8)、「防犯・防火」「交通安全」「募金」等が実施されている一方で、「5千～1万未満」は2個程度と少ない。

平時の町内会連合会活動(2019年度) 単位:%



地区・規模別の町内会連合会活動 単位:%

		調査数	個数	清掃美化活動	交通安全運動	防犯・防火運動	行政懇談会	募金活動	役員研修会・視察交流
合計		145	3.63	54.5	48.3	42.1	35.9	35.9	34.5
M C F	エリア内	44	∴ 4.16	56.8	54.5	↑ 54.5	34.1	43.2	43.2
	エリア外	101	3.40	53.5	45.5	36.6	36.6	32.7	30.7
人口規模	5万以上	49	▲ 4.76	61.2	△ 65.3	▲ 71.4	∴ 26.5	▲ 61.2	32.7
	1～5万未満	36	3.42	58.3	44.4	∴ 30.6	44.4	30.6	38.9
	5千～1万未満	23	▼ 2.04	43.5	▼ 17.4	▼ 13.0	34.8	▽ 13.0	30.4
	5千未満	37	3.32	48.6	48.6	32.4	40.5	↓ 21.6	35.1
合計		145	32.4	23.4	22.1	10.3	9.0	14.5	
M C F	エリア内	44	△ 47.7	22.7	∴ 31.8	6.8	9.1	11.4	
	エリア外	101	∴ 25.7	23.8	17.8	11.9	8.9	15.8	
人口規模	5万以上	49	40.8	▲ 40.8	△ 36.7	∴ 16.3	10.2	12.2	
	1～5万未満	36	33.3	∴ 13.9	19.4	8.3	5.6	13.9	
	5千～1万未満	23	30.4	↓ 8.7	▽ 4.3	-	4.3	∴ 4.3	
	5千未満	37	∴ 21.6	18.9	16.2	10.8	13.5	↑ 24.3	

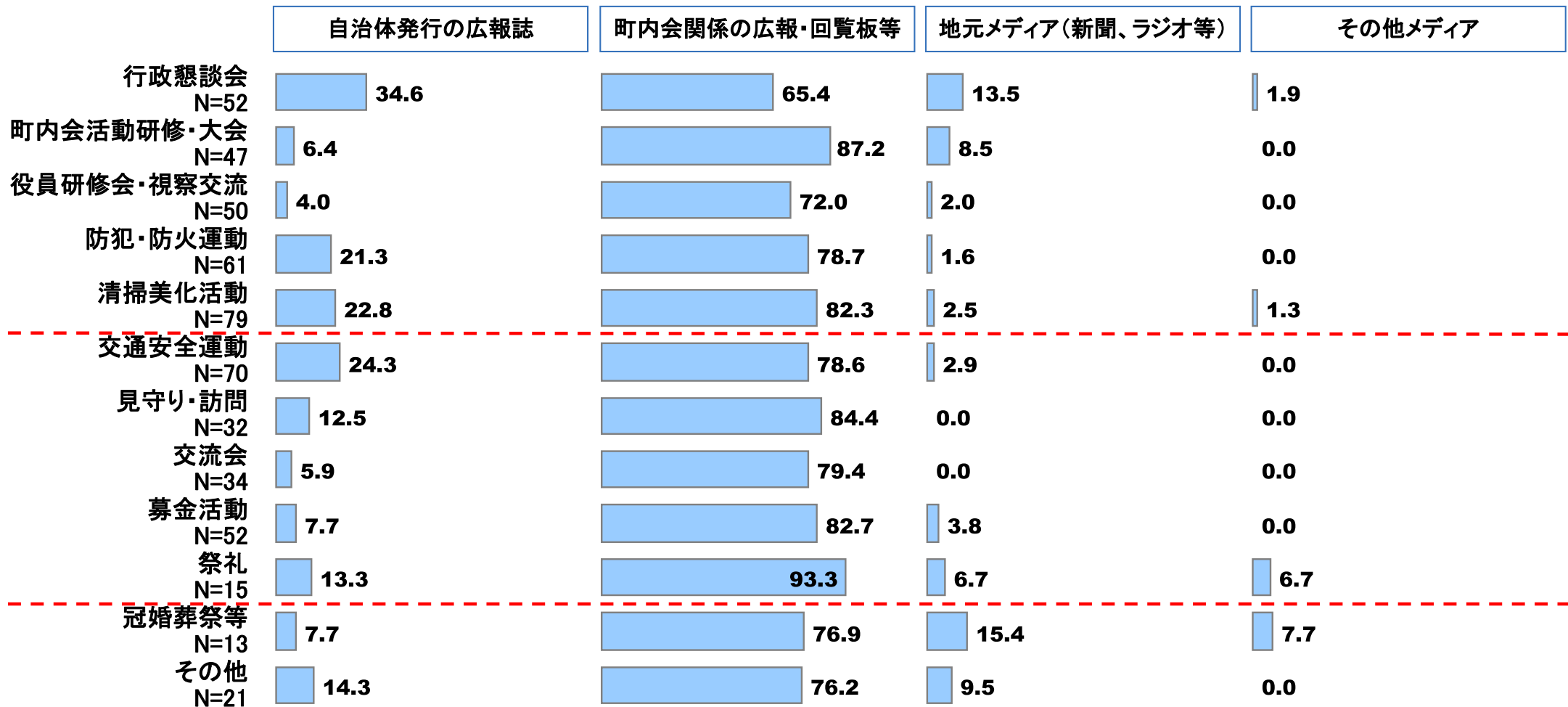
## 2. 平時の広報実態

### (2) 広報伝達手段

- 町内会連合会で実施した活動・行事の広報手段を確認すると、「町内会関係の広報・回覧板等」が最も多く、次いで「自治体発行の広報誌」であり、「地元メディア」の活用はいずれも2割未満である。
- 「町内会関係の広報・回覧板等」で多いのは「祭礼」や「町内会活動研修・大会」、「自治体発行の広報誌」では「交通安全」「清掃美化」である。「地元メディア」で多いのは「冠婚葬祭等」や「行政懇談会」であった。

### 広報伝達手段

単位：%



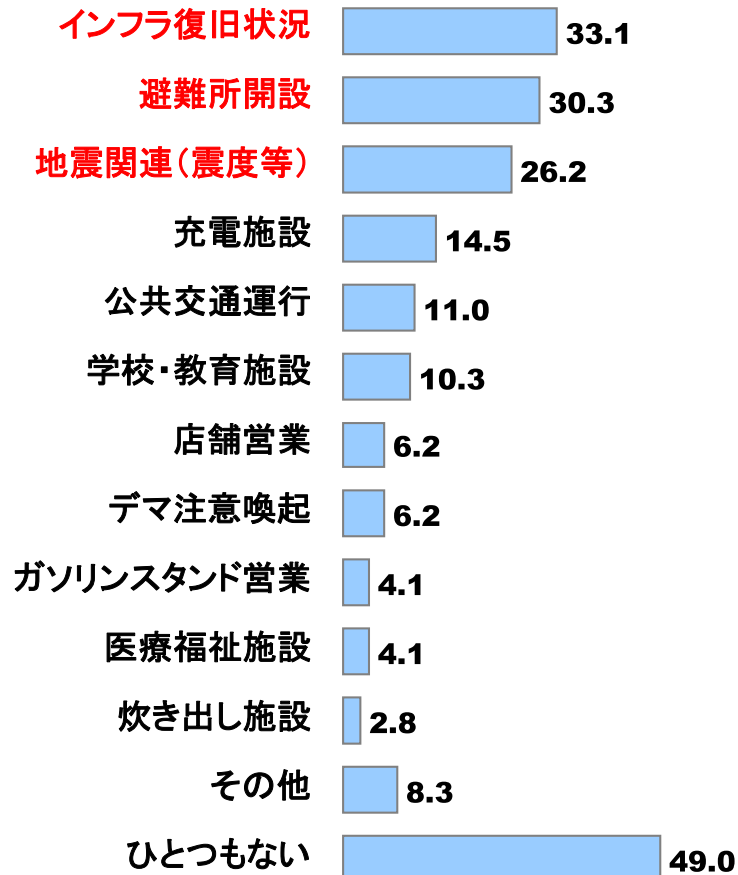
# 3. 有事対応 胆振東部地震

## (1) 収集情報

- 2018年9月に発生した胆振東部地震発生後の町内会連合会としての対応を確認する。
- 町内会連合会として収集した情報は「インフラ復旧状況」(33.1)、「避難所開設」(30.3)、「地震関連」(26.2)である一方で、「ひとつもない」(49.0)が半数近くに達していた。
- 地区・規模別にみると、収集個数が多いのは「5万以上」(2.8)であり、「避難所開設」「インフラ復旧状況」「地震関連」等の項目を収集している一方で、「5千～1万未満」や「5千未満」の規模では収集個数が1個未満という結果であった。

### 地震発生後で収集した情報

単位：%



### 地区・規模別でみた地震発生後で収集した情報

単位：%

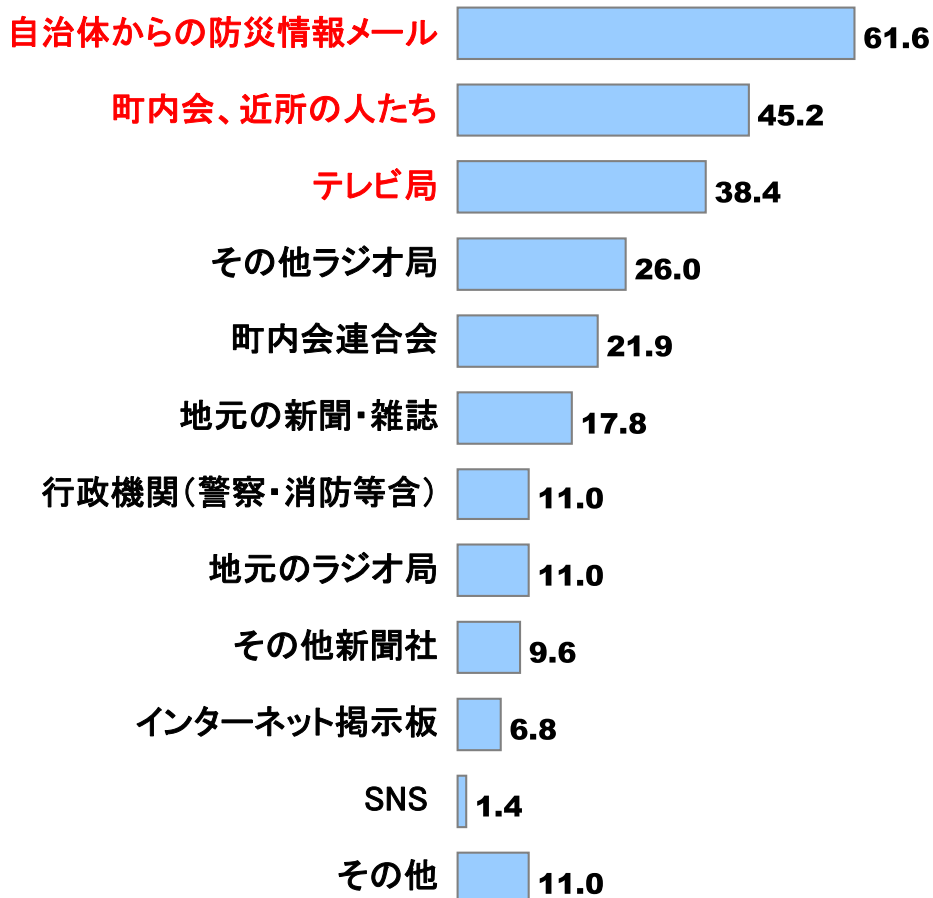
	調査数	個数	インフラ復旧状況	避難所開設	地震関連(震度等)	充電施設	公共交通運行	学校・教育施設	
合計	145	1.57	33.1	30.3	26.2	14.5	11.0	10.3	
M C F	エリア内	44	∴ 2.05	36.4	↑ 43.2	∴ 36.4	18.2	15.9	15.9
	エリア外	101	1.37	31.7	24.8	21.8	12.9	8.9	7.9
人口規模	5万以上	49	▲ 2.82	▲ 57.1	▲ 67.3	▲ 53.1	△ 24.5	∴ 18.4	△ 20.4
	1～5万未満	36	1.56	33.3	↓ 16.7	25.0	13.9	11.1	11.1
	5千～1万未満	23	▽ 0.48	▽ 13.0	▼ 4.3	▽ 4.3	8.7	4.3	-
	5千未満	37	▼ 0.62	▽ 13.5	▼ 10.8	▼ 5.4	∴ 5.4	5.4	∴ 2.7
	調査数	店舗営業	デマ注意喚起	ガソリンスタンド営業	医療福祉施設	炊き出し施設	その他	ひとつもない	
合計	145	6.2	6.2	4.1	4.1	2.8	8.3	49.0	
M C F	エリア内	44	9.1	∴ 11.4	2.3	4.5	2.3	9.1	40.9
	エリア外	101	5.0	4.0	5.0	4.0	3.0	7.9	52.5
人口規模	5万以上	49	↑ 12.2	6.1	4.1	6.1	4.1	8.2	▼ 14.3
	1～5万未満	36	5.6	11.1	△ 11.1	5.6	-	11.1	55.6
	5千～1万未満	23	-	8.7	-	-	-	4.3	△ 73.9
	5千未満	37	2.7	-	-	2.7	5.4	8.1	▲ 73.0

# 3. 有事対応 胆振東部地震

## (2) 収集情報の情報源

- 町内会連合会として収集した情報の情報源を確認する。多いのは「自治体からの防災情報メール」(61.6)、「町内会、近所の人たち」(45.2)であり、地元メディアの「地元の新聞・雑誌」(17.8)や「地元のラジオ局」(11.0)であった。
- 地区・規模別で見ると、個数については人口規模と収集個数がほぼ比例の関係になっている。「1～5万未満」の自治体では「町内会、近所の人他たち」(37.5)。「町内会連合会」(0.0)と他の規模に比べて少ないことがわかる。

収集した情報の情報源 単位：%



回答者 Base for % 収集者ベース: 73s

地区・規模別でみた収集情報の情報源 単位：%

		調査数	個数	情報源					
				自治体からの防災情報メール	町内会、近所の人たち	テレビ局	その他ラジオ局	町内会連合会	地元の新聞・雑誌
合計		73	2.62	61.6	45.2	38.4	26.0	21.9	17.8
M C F	エリア内	25	2.92	60.0	↑ 64.0	40.0	24.0	↑ 36.0	16.0
	エリア外	48	2.46	62.5	∴ 35.4	37.5	27.1	14.6	18.8
人口規模	5万以上	41	2.90	58.5	51.2	46.3	26.8	↑ 34.1	22.0
	1～5万未満	16	2.63	62.5	37.5	31.3	31.3	-	25.0
	5千～1万未満	6	1.83	66.7	50.0	16.7	-	33.3	-
	5千未満	10	∴ 1.90	70.0	30.0	30.0	30.0	-	-
合計		73	11.0	11.0	9.6	6.8	1.4	11.0	-
M C F	エリア内	25	12.0	∴ 20.0	8.0	4.0	-	8.0	-
	エリア外	48	10.4	6.3	10.4	8.3	2.1	12.5	-
人口規模	5万以上	41	12.2	17.1	4.9	9.8	-	7.3	-
	1～5万未満	16	18.8	6.3	18.8	6.3	↑ 6.3	18.8	-
	5千～1万未満	6	-	-	-	-	-	16.7	-
	5千未満	10	-	-	20.0	-	-	10.0	-

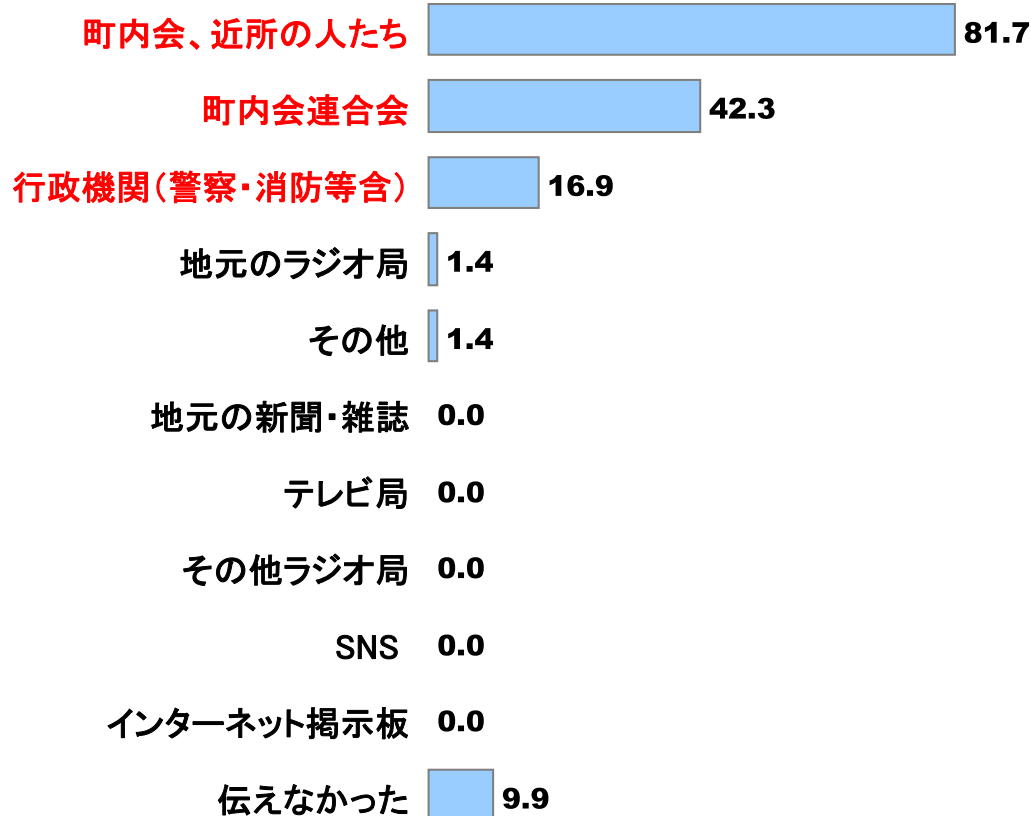
※CFMエリア外の6.3%はサイマル放送やカーラジオでの受信が考えられる

### 3. 有事対応 胆振東部地震

#### (3) 収集情報の伝達先

- 収集した情報の伝達先について確認すると、8割が「町内会、近所の人たち」(81.7)であり、地元メディアは「地元のラジオ局」(1.4)や「地元の新聞・雑誌」(0.0)と伝達先としてほぼゼロである。
- 地区・規模別でみると、伝達先の数が多いのは「5万以上」(1.7)や「5千～1万未満」(1.6)である。「5万以上」で多かった伝達先は「町内会連合会」(58.5)がある一方で、「1～5万未満」では「伝えなかった」(26.7)と3割近くという結果であった。

収集した情報の伝達先 単位：%



地区・規模別でみた収集情報の伝達先 単位：%

	調査数	個数	伝達先					
			町内会、近所の人たち	町内会連合会	行政機関(警察・消防等含)	地元のラジオ局	その他	
合計	71	1.44	81.7	42.3	16.9	1.4	1.4	
M C F	エリア内	25	1.60	88.0	48.0	20.0	4.0	-
	エリア外	46	1.35	78.3	39.1	15.2	-	2.2
人口規模	5万以上	41	↑ 1.68	∴ 90.2	△ 58.5	17.1	2.4	-
	1～5万未満	15	↓ 1.07	▽ 60.0	↓ 20.0	20.0	-	↑ 6.7
	5千～1万未満	5	1.60	100.0	40.0	20.0	-	-
	5千未満	10	▽ 0.90	70.0	▽ 10.0	10.0	-	-
合計	71							9.9
M C F	エリア内	25						8.0
	エリア外	46						10.9
人口規模	5万以上	41						4.9
	1～5万未満	15						△ 26.7
	5千～1万未満	5						-
	5千未満	10						10.0



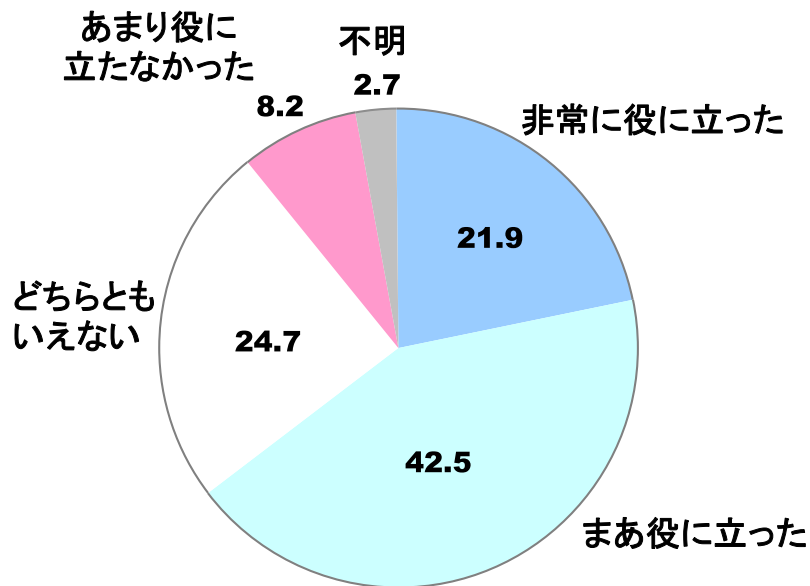
### 3. 有事対応 胆振東部地震

#### (4) 収集情報の評価

- 収集した情報の評価を確認する。「非常に役に立った」(21.9)、「まあ役に立った」(42.5)と6割以上の町内会連合会は収集した情報を評価していることがわかる。
- 地区・規模別で見ると、コミュニティFM可聴エリア内でエリア外よりも「役に立った」計が10pt.以上多い。人口規模では「5万以上」で「役に立った」が全体よりも高い一方で、「5千～1万未満」では全体よりも10pt.以上低い。

収集した情報の評価

単位：%



地区・規模別でみた収集情報の評価

単位：%

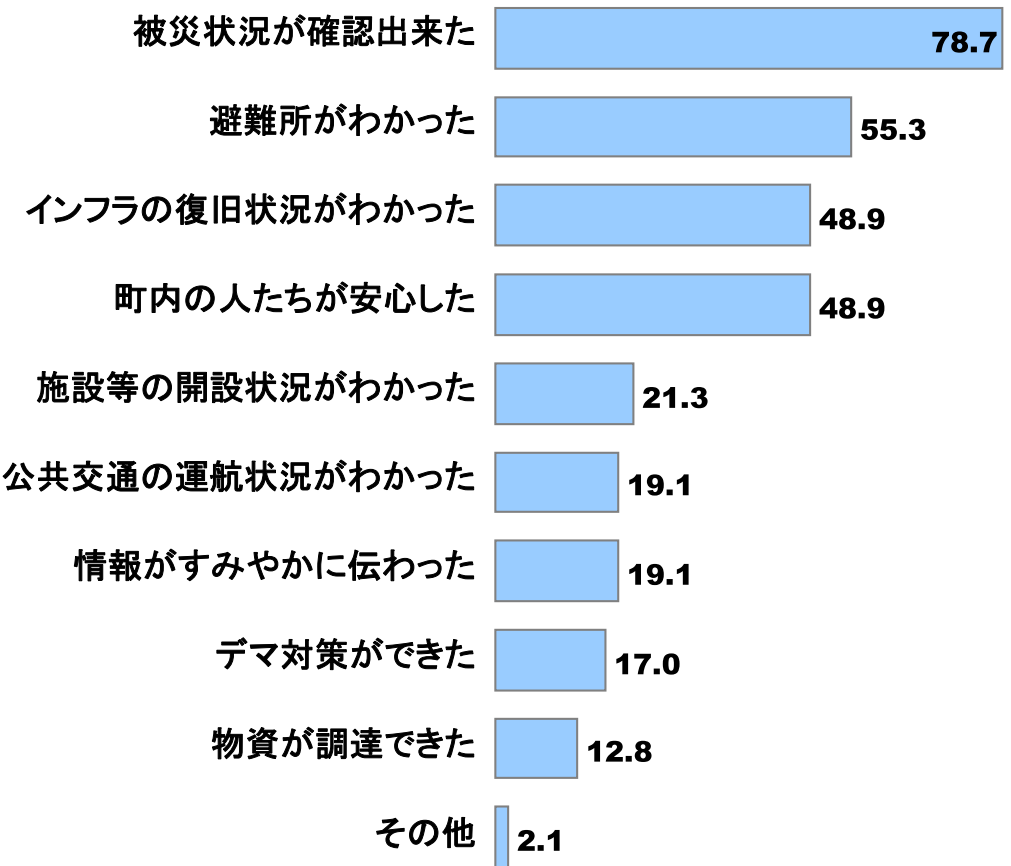
		調査数	非常に役に立った	まあ役に立った	どちらともいえない	あまり役に立たなかった	まったく役に立たなかった	不明
合計		73	21.9	42.5	24.7	8.2	-	2.7
M C F	エリア内	25	24.0	48.0	24.0	4.0	-	-
	エリア外	48	20.8	39.6	25.0	10.4	-	4.2
人口規模	5万以上	41	24.4	43.9	22.0	9.8	-	-
	1～5万未満	16	18.8	43.8	25.0	6.3	-	6.3
	5千～1万未満	6	16.7	33.3	33.3	-	-	△ 16.7
	5千未満	10	20.0	40.0	30.0	10.0	-	-

### 3. 有事対応 胆振東部地震

#### (5) 収集情報の評価理由

- 収集情報の評価理由を確認すると、「被災状況が確認出来た」(78.7)、「避難所がわかった」(55.3)、「インフラの復旧状況がわかった」「町内の人たちが安心した」(48.9)の順が多かった。
- 地区・規模別で見ると、「1～5万未満」で「インフラの復旧状況」「施設等の開設状況」、「5千～1万未満」で「デマ対策」が全体平均よりもそれぞれ高かった。

収集した情報の評価理由 単位：%



地区・規模別でみた収集情報の評価理由 単位：%

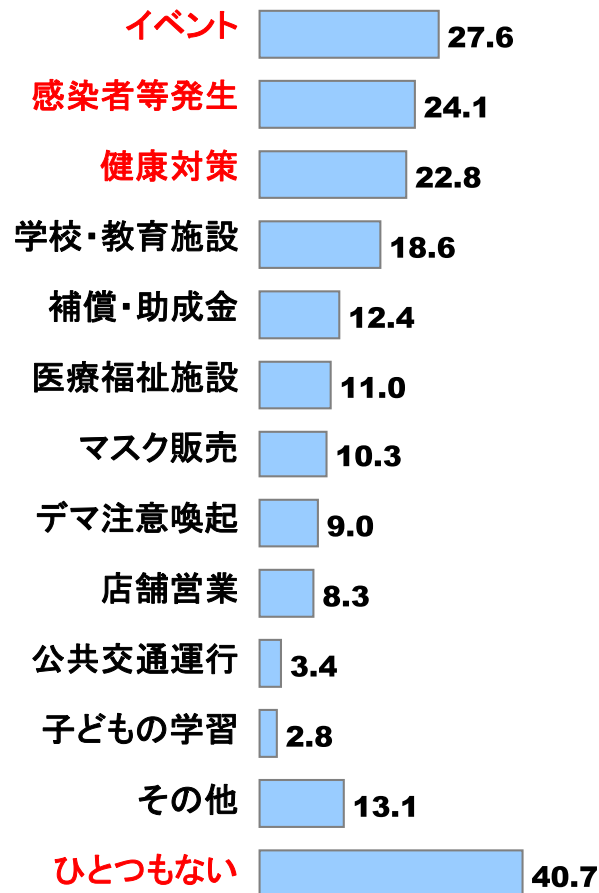
		調査数	被災状況が確認出来たから	避難所がわかったから	インフラの復旧状況がわかった	町内の人たちが安心した	店舗・施設の営業・開設状況がわかった
合計		47	78.7	55.3	48.9	48.9	21.3
M	C	18	88.9	72.2	50.0	55.6	11.1
	F	29	72.4	44.8	48.3	44.8	27.6
人口規模	5万以上	28	↑ 92.9	64.3	46.4	57.1	↓ 7.1
	1～5万未満	10	80.0	50.0	△ 80.0	40.0	△ 50.0
	5千～1万未満	3	-	33.3	-	-	-
	5千未満	6	↓ 50.0	33.3	33.3	50.0	↑ 50.0
		調査数	公共交通の運航状況がわかった	情報がすみやかに伝わったから	デマ対策ができたから	物資が調達できたから	その他
合計		47	19.1	19.1	17.0	12.8	2.1
M	C	18	27.8	11.1	27.8	11.1	-
	F	29	13.8	24.1	10.3	13.8	3.4
人口規模	5万以上	28	17.9	7.1	17.9	7.1	3.6
	1～5万未満	10	↑ 40.0	30.0	10.0	30.0	-
	5千～1万未満	3	-	33.3	△ 66.7	-	-
	5千未満	6	-	↑ 50.0	-	16.7	-

# 4. 有事対応 新型コロナウイルス

## (1) 収集情報

- ここでは2020年4月に発令された緊急事態宣言後における町内会連合会としての対応を確認する。
- 町内会連合会として収集した情報は「イベント」(27.6)、「感染者等発生」(24.1)、「健康対策」(22.8)である一方で、「ひとつもない」(40.7)と4割に達していた。
- 地区・規模別にみると、収集個数が多いのは「5万以上」(2.6)であり、「イベント」「感染者等発生」「学校・教育施設」「健康対策」等の項目を収集している一方で、「5千未満」の規模では収集個数が1個未満という結果であった。

緊急事態宣言後で収集した情報 単位：%



地区・規模別でみた宣言後に収集した情報 単位：%

	調査数	個数	イベント	感染者等発生	健康対策	学校・教育施設	補償・助成金	医療福祉施設
合計	145	1.63	27.6	24.1	22.8	18.6	12.4	11.0
M C F	エリア内	44	1.91	31.8	25.0	29.5	11.4	13.6
	エリア外	101	1.51	25.7	23.8	19.8	12.9	9.9
人口規模	5万以上	49	▲ 2.57	△ 42.9	△ 36.7	▲ 36.7	▲ 28.6	△ 22.4
	1～5万未満	36	1.39	19.4	19.4	∴ 8.3	5.6	5.6
	5千～1万未満	23	1.48	17.4	26.1	8.7	4.3	8.7
	5千未満	37	▼ 0.73	21.6	↓ 10.8	-	↓ 2.7	∴ 2.7
	調査数	マスク販売	デマ注意喚起	店舗営業	公共交通運行	子どもの学習	その他	ひとつもない
合計	145	10.3	9.0	8.3	3.4	2.8	13.1	40.7
M C F	エリア内	44	11.4	13.6	4.5	2.3	↑ 22.7	▽ 25.0
	エリア外	101	9.9	6.9	9.9	4.0	8.9	∴ 47.5
人口規模	5万以上	49	△ 20.4	10.2	4.1	2.0	16.3	▼ 10.2
	1～5万未満	36	5.6	11.1	8.3	2.8	△ 25.0	36.1
	5千～1万未満	23	8.7	13.0	13.0	∴ 8.7	4.3	△ 60.9
	5千未満	37	∴ 2.7	∴ 2.7	10.8	2.7	↓ 2.7	▲ 73.0

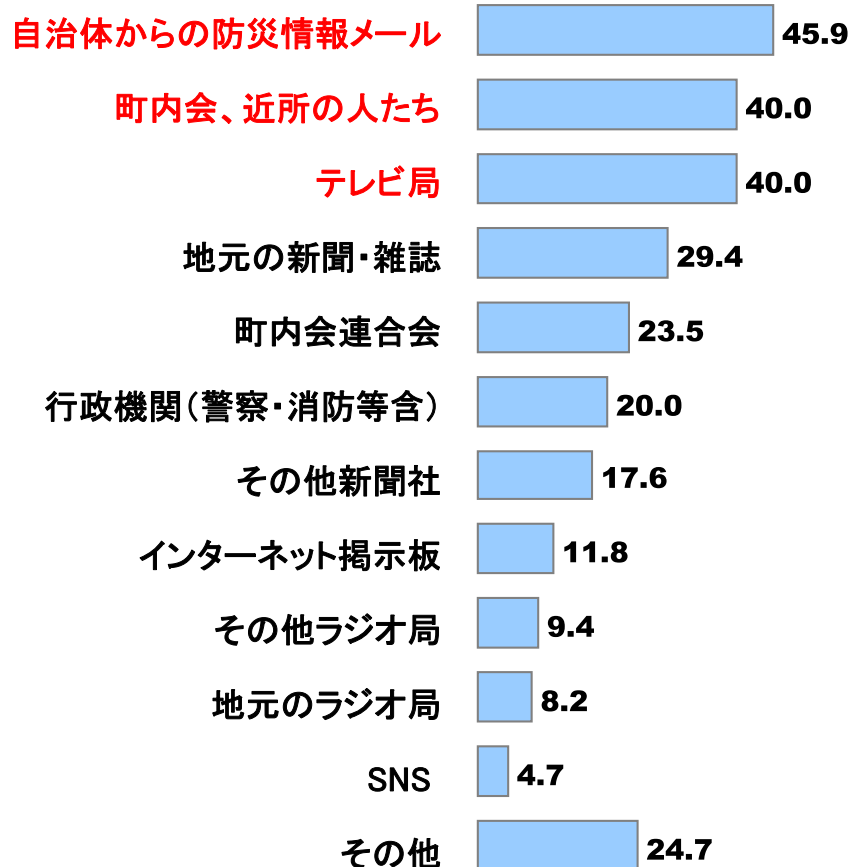
# 4. 有事対応 新型コロナウイルス

## (2) 収集情報の情報源

- 町内会連合会として収集した情報の情報源を確認する。多いのは「自治体からの防災情報メール」(45.9)、「町内会、近所の人たち」「テレビ局」(40.0)であり、地元メディアの「地元の新聞・雑誌」(29.4)や「地元のラジオ局」(9.4)であった。
- 地区・規模別でみると、個数は人口規模とさほど関係ないことがわかる。「5千～1万未満」の自治体がやや多い程度(3.1)で「行政機関」(55.6)は全体平均より30pt.以上多い。また、「5千未満」では「その他ラジオ局」(30.0)と20pt.ほど多いことがわかる。

### 収集した情報の情報源

単位：%



### 地区・規模別でみた収集情報の情報源

単位：%

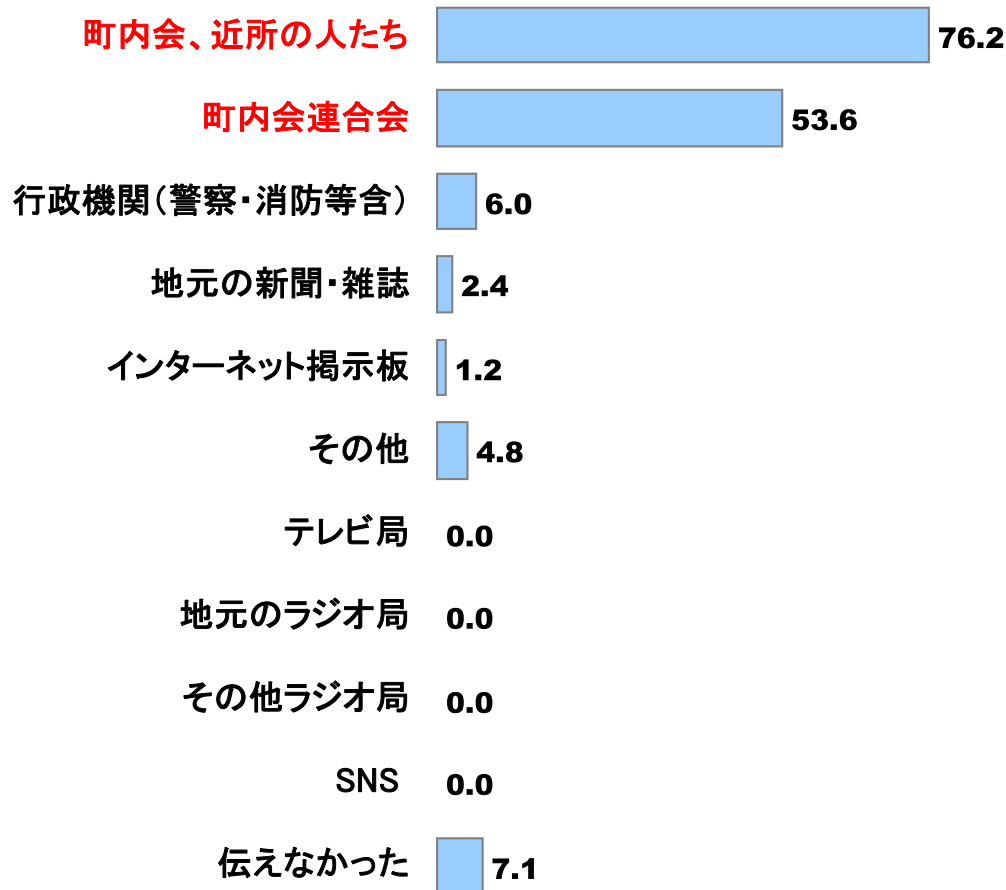
		調査数	個数	自治体からの防災情報メール	町内会、近所の人たち	テレビ局	地元の新聞・雑誌	町内会連合会	行政機関(警察・消防等含)
合計		85	2.75	45.9	40.0	40.0	29.4	23.5	20.0
M C F	エリア内	32	2.81	43.8	43.8	40.6	34.4	↑ 37.5	21.9
	エリア外	53	2.72	47.2	37.7	39.6	26.4	∴ 15.1	18.9
人口規模	5万以上	43	2.88	53.5	46.5	44.2	37.2	∴ 32.6	18.6
	1～5万未満	23	2.39	39.1	∴ 26.1	30.4	17.4	13.0	13.0
	5千～1万未満	9	3.11	33.3	33.3	33.3	33.3	22.2	▲ 55.6
	5千未満	10	2.70	40.0	50.0	50.0	20.0	10.0	10.0
		調査数	その他新聞社	インターネット掲示板	その他ラジオ局	地元のラジオ局	SNS	その他	ひとつもない
合計		85	17.6	11.8	9.4	8.2	4.7	24.7	-
M C F	エリア内	32	15.6	6.3	6.3	9.4	-	21.9	-
	エリア外	53	18.9	15.1	11.3	7.5	7.5	26.4	-
人口規模	5万以上	43	11.6	14.0	4.7	11.6	-	∴ 14.0	-
	1～5万未満	23	26.1	13.0	4.3	8.7	↑ 13.0	34.8	-
	5千～1万未満	9	33.3	-	∴ 22.2	-	-	∴ 44.4	-
	5千未満	10	10.0	10.0	△ 30.0	-	10.0	30.0	-

# 4. 有事対応 新型コロナウイルス

## (3) 収集情報の伝達先

- 収集した情報の伝達先について確認する。ほぼ「町内会、近所の人たち」(76.2)や「町内会連合会」(53.6)のみであり、それ以外はいずれも1割未満という結果であった。
- 地区・規模別で見ると、伝達先の数が多いのは「CFM可聴エリア内」「5万以上」(1.7)である。ただしいずれの場合も伝達先に「地元のラジオ局」はゼロであった。

収集した情報の伝達先 単位: %



地区・規模別でみた収集情報の伝達先 単位: %

	調査数	個数	町内会、近所の人たち					インターネット掲示板
			町内会、近所の人たち	町内会連合会	行政機関(警察・消防等含)	地元の新聞・雑誌	インターネット掲示板	
合計	84	1.44	76.2	53.6	6.0	2.4	1.2	
M C F	エリア内	32	△ 1.72	∴ 87.5	↑ 68.8	6.3	3.1	-
	エリア外	52	↓ 1.27	69.2	∴ 44.2	5.8	1.9	1.9
人口規模	5万以上	43	△ 1.67	∴ 86.0	∴ 65.1	7.0	2.3	2.3
	1~5万未満	22	1.27	∴ 63.6	45.5	4.5	4.5	-
	5千~1万未満	9	∴ 1.11	66.7	44.4	-	-	-
	5千未満	10	∴ 1.10	70.0	∴ 30.0	10.0	-	-
合計	84	4.8	-	-	-	-	7.1	
M C F	エリア内	32	6.3	-	-	-	-	-
	エリア外	52	3.8	-	-	-	-	11.5
人口規模	5万以上	43	4.7	-	-	-	-	2.3
	1~5万未満	22	9.1	-	-	-	-	9.1
	5千~1万未満	9	-	-	-	-	-	↑ 22.2
	5千未満	10	-	-	-	-	-	10.0

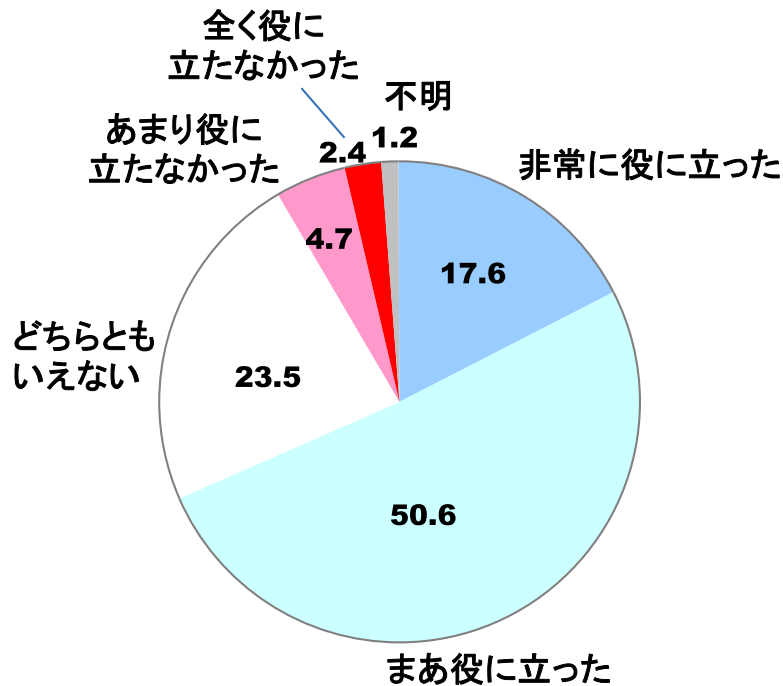
# 4. 有事対応 新型コロナウイルス

## (4) 収集情報の評価

- 収集した情報の評価を確認する。「非常に役に立った」(17.6)、「まあ役に立った」(50.6)と7割近くの町内会連合会は収集した情報を評価していることがわかる。
- 地区・規模別で見ると、コミュニティFM可聴エリア内でエリア外よりも「非常に役に立った」が16pt.ほど多いものの、「まあ役に立った」では逆にエリア外の方が6ptほど多く、終息していないこの段階において収集情報の評価が割れている可能性が高い。

収集した情報の評価

単位：%



地区・規模別でみた収集情報の評価

単位：%

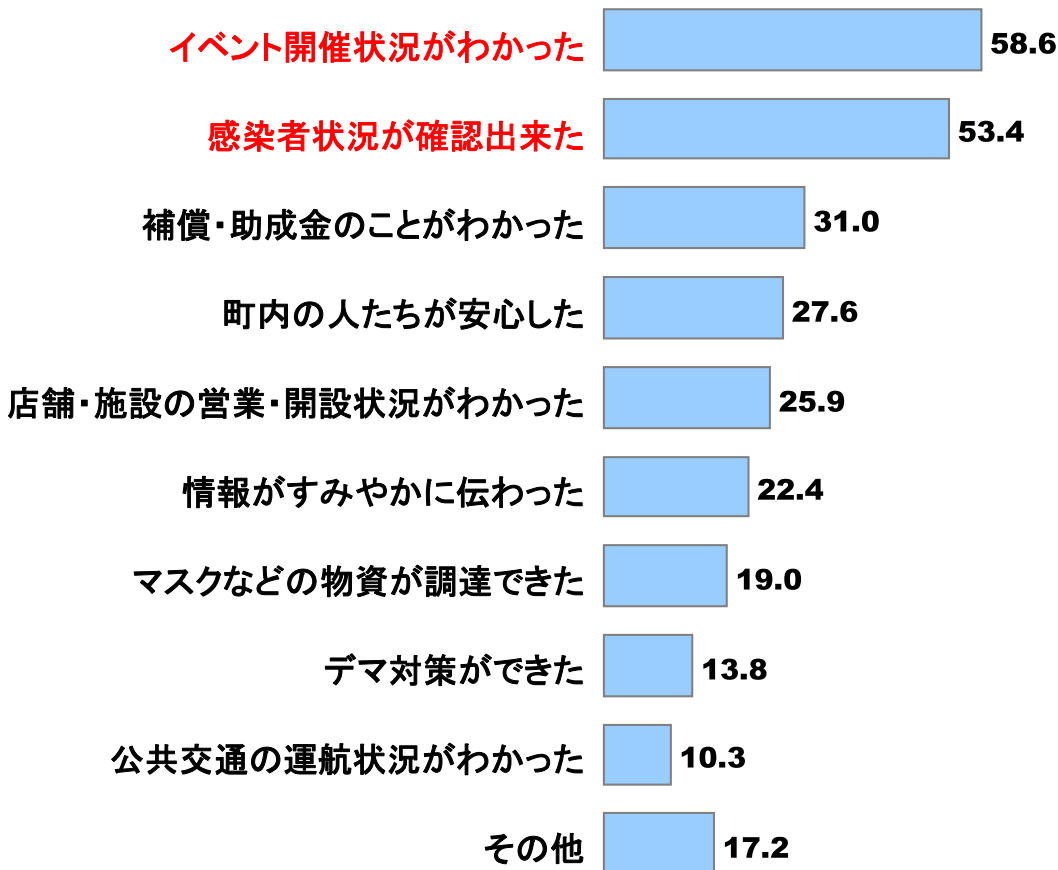
		調査数	非常に役に立った	まあ役に立った	どちらともいえない	あまり役に立たなかった	まったく役に立たなかった	不明
合計		85	17.6	50.6	23.5	4.7	2.4	1.2
M C F	エリア内	32	∴ 28.1	46.9	25.0	-	-	-
	エリア外	53	11.3	52.8	22.6	7.5	3.8	1.9
人口規模	5万以上	43	16.3	55.8	20.9	7.0	-	-
	1～5万未満	23	∴ 30.4	↓ 30.4	26.1	4.3	4.3	∴ 4.3
	5千～1万未満	9	-	66.7	22.2	-	↑ 11.1	-
	5千未満	10	10.0	60.0	30.0	-	-	-

# 4. 有事対応 新型コロナウイルス

## (5) 収集情報の評価理由

- 収集情報の評価理由を確認すると、「イベント開催状況がわかった」(58.6)、「感染者状況が確認出来た」(55.4)が5割以上であった。
- 地区・規模別で見ると、CFMエリア外の方で評価理由を挙げている人が相対的に多かった。一方でエリア内でやや多かったのは「町内の人たちが安心」「デマ対策」であった。人口規模では「5千～1万未満」の自治体で「イベント開催状況」「感染者状況」「補償・助成金」「施設等営業」「すみやかに伝わった」等で他の規模よりも多く、また「5千～1万未満」では「デマ対策」がそれぞれ全体平均よりも多かった。

収集した情報の評価理由 単位：%



地区・規模別でみた収集情報の評価理由 単位：%

		調査数	イベント開催状況がわかった	感染者状況が確認出来た	補償・助成金のことわかった	町内の人たちが安心した	店舗・施設の営業・開設状況がわかった
合計		58	58.6	53.4	31.0	27.6	25.9
M C F	エリア内	24	↓ 41.7	50.0	20.8	29.2	∴ 12.5
	エリア外	34	∴ 70.6	55.9	38.2	26.5	35.3
人口規模	5万以上	31	61.3	54.8	35.5	32.3	22.6
	1～5万未満	14	50.0	42.9	21.4	21.4	21.4
	5千～1万未満	6	50.0	50.0	16.7	16.7	33.3
	5千未満	7	71.4	71.4	42.9	28.6	42.9
		調査数	情報がすみやかに伝わった	マスクなどの物資が調達できた	デマ対策ができた	公共交通の運航状況がわかった	その他
合計		62	22.4	19.0	13.8	10.3	17.2
M C F	エリア内	26	20.8	16.7	16.7	-	20.8
	エリア外	36	23.5	20.6	11.8	∴ 17.6	14.7
人口規模	5万以上	32	19.4	25.8	12.9	9.7	19.4
	1～5万未満	15	14.3	7.1	7.1	7.1	21.4
	5千～1万未満	7	33.3	16.7	△ 50.0	16.7	16.7
	5千未満	8	∴ 42.9	14.3	-	14.3	-

# 5. 町内会連合会運営における広報上の課題

## (1) 平時と有事の比較

- 町内会連合会の運営における課題を平時と有事の比較から確認する。
- 有事よりも平時の課題として大きいのは「回覧板等を見ない人が多い」「町連の活動を知ってもらう工夫が必要」「単町や町連の活動が周知されていない」等である。
- 有事の方で大きいのは「単町と町連の連携が弱い」「情報が多すぎて混乱することは多い」等であった。

平時と有事の比較からみた町内会連合会の運営における広報活動上の課題 回答者 Base for % : 145s

	平時	有事	差 平時－有事
回覧板や広報誌を見ない人が多い	39.3	13.1	26.2
町内会連合会の活動を知ってもらう工夫が必要である	41.4	15.9	25.5
町内会連合会と単位町内会との間で情報共有が行われている	46.2	21.4	24.8
単位町内会や町内会連合会の活動が住民に周知されていない	29.0	15.2	13.8
広報活動を行うスキルが足りない	28.3	17.9	10.4
ホームページやSNSによる情報発信が少ない	37.2	27.6	9.6
広報活動を行うノウハウが足りない	23.4	14.5	8.9
広報誌等を編集ができる人が少ない	27.6	19.3	8.3
町内会連合会と他地域組織・団体と情報共有が行われている	13.1	7.6	5.5
広報活動を行うツールが少ない	18.6	13.8	4.8
広報活動を円滑に行うための資金が足りない	17.9	13.1	4.8
地域へ取材ができる人が少ない	27.6	23.4	4.2
住民から単位町内会や町内会連合会へ情報伝達する仕組が弱い	25.5	21.4	4.1
市町村や消防・警察等との情報共有体制を構築されている	24.1	20.0	4.1
地域の動向を十分に発信できていない	20.0	20.0	0.0
市町村や消防・警察等による情報が少ない	6.9	9.0	▲2.1
市町村や消防・警察等による情報が来るのが遅い	7.6	11.0	▲3.4
新聞社や放送局との関係構築が必要である	6.9	13.1	▲6.2
情報が多すぎて混乱することは多い	3.4	11.0	▲7.6
単位町内会と町内会連合会との連携が弱い	16.6	28.3	▲11.7



# 5. 町内会連合会運営における広報上の課題

## (2) 平時の課題

- 平時における町内会連合会における広報活動上の課題を確認する。
- コミュニティFM局可聴エリア内が多いのは「町連の活動を知ってもらう必要がある」(56.8)、「住民から単町・連町へ情報伝達する仕組が弱い」(38.6)である。
- 規模別では「5万以上」で「町連の活動を知ってもらう必要がある」(57.1)、「回覧板等を見ない人が多い」(55.1)が多く、「5千～1万未満」では逆の結果である。一方で「5千未満」では「ひとつもない」(16.2)が多かった。

### 平時における町内会連合会の運営における広報活動上の課題

回答者 Base for % : 145s

		調査数	町内会連合会と単位町内会との間で情報共有が行われている	町内会連合会の活動を知ってもらう工夫が必要である	回覧板や広報誌を見ない人が多い	ホームページやSNSによる情報発信が少ない	単位町内会や町内会連合会の活動が住民に周知されていない	広報活動を行うスキルが足りない	地域へ取材ができる人が少ない	広報誌等を編集ができる人が少ない	住民から単位町内会や町内会連合会へ情報伝達する仕組が弱い	市町村や消防・警察等との情報共有体制を構築されている	広報活動を行うノウハウが足りない
合計		145	46.2	41.4	39.3	37.2	29.0	28.3	27.6	27.6	25.5	24.1	23.4
M F	エリア内	44	47.7	△ 56.8	47.7	40.9	34.1	31.8	27.3	22.7	△ 38.6	25.0	∴ 13.6
	エリア外	101	45.5	∴ 34.7	35.6	35.6	26.7	26.7	27.7	29.7	∴ 19.8	23.8	27.7
人口規模	5万以上	49	55.1	△ 57.1	△ 55.1	42.9	34.7	∴ 38.8	32.7	∴ 36.7	∴ 34.7	20.4	20.4
	1～5万未満	36	50.0		50.0	36.1	41.7	27.8	27.8	25.0	19.4	27.8	25.0
	5千～1万未満	23	39.1	▽ 17.4	▽ 13.0	30.4	↓ 13.0	17.4	26.1	21.7	∴ 13.0	26.1	30.4
	5千未満	37	∴ 35.1	↓ 27.0	37.8	29.7	32.4	21.6	24.3	27.0	18.9	24.3	21.6
		調査数	地域の動向を十分に発信できていない	広報活動を行うツールが少ない	広報活動を円滑に行うための資金が足りない	単位町内会と町内会連合会との連携が弱い	町内会連合会と他地域組織・団体と情報共有が行われている	市町村や消防・警察等による情報が必要が来るのが遅い	新聞社や放送局との関係構築が必要である	市町村や消防・警察等による情報が少ない	情報が多すぎて混乱することは多い	その他	ひとつもない
合計		145	20.0	18.6	17.9	16.6	13.1	7.6	6.9	6.9	3.4	6.2	7.6
M F	エリア内	44	20.5	18.2	13.6	13.6	15.9	∴ 2.3	9.1	6.8	4.5	2.3	4.5
	エリア外	101	19.8	18.8	19.8	17.8	11.9	9.9	5.9	6.9	3.0	7.9	8.9
人口規模	5万以上	49	18.4	24.5	14.3	10.2	∴ 20.4	6.1	8.2	10.2	6.1	4.1	-
	1～5万未満	36	∴ 30.6	∴ 8.3	13.9	↑ 27.8	16.7	∴ 13.9	8.3	8.3	-	2.8	8.3
	5千～1万未満	23	17.4	17.4	26.1	21.7	4.3	4.3	4.3	-	-	▲ 21.7	8.7
	5千未満	37	13.5	21.6	21.6	10.8	∴ 5.4	5.4	5.4	5.4	5.4	2.7	△ 16.2

# 5. 町内会連合会運営における広報上の課題

## (3) 有事の課題

- 次に有事における町内会連合会における広報活動上の課題を確認する。
- コミュニティFM局可聴エリア内で相対的に多いのは「住民から単町・連町へ情報伝達する仕組が弱い」、エリア外で相対的に多いのは「地域へ取材できる人が少ない」「広報誌等編集できる人が少ない」「広報活動を行うノウハウが足りない」等である。
- 規模別でやや多いのは「5万以上」で「単町・連町の活動が住民に周知されていない」、「1～5万未満」で「単町と町連の連携が弱い」「地域へ取材できる人が少ない」等が多かった。

### 有事における町内会連合会の運営における広報活動上の課題

回答者 Base for % : 145s

		調査数	単位町内会と町内会連合会との連携が弱い	ホームページやSNSによる情報発信が少ない	地域へ取材ができる人が少ない	住民から単町内会や町内会連合会へ情報伝達する仕組が弱い	町内会連合会と単町内会との間で情報共有が行われている	地域の動向を十分に発信できていない	市町村や消防・警察等との情報共有体制を構築されている	広報誌等を編集ができる人が少ない	広報活動を行うスキルが足りない	町内会連合会の活動を知ってもらう工夫が必要である	単位町内会や町内会連合会の活動が住民に周知されていない
合計		145	28.3	27.6	23.4	21.4	21.4	20.0	20.0	19.3	17.9	15.9	15.2
M C F	エリア内	44	25.0	22.7	18.2	25.0	27.3	15.9	20.5	13.6	18.2	15.9	20.5
	エリア外	101	29.7	29.7	25.7	19.8	18.8	21.8	19.8	21.8	17.8	15.8	12.9
人口規模	5万以上	49	28.6	24.5	18.4	24.5	28.6	24.5	14.3	22.4	24.5	18.4	∴ 22.4
	1～5万未満	36	∴ 38.9	33.3	∴ 33.3	25.0	25.0	19.4	27.8	22.2	19.4	22.2	11.1
	5千～1万未満	23	30.4	26.1	26.1	13.0	∴ 8.7	21.7	26.1	17.4	17.4	17.4	8.7
	5千未満	37	∴ 16.2	27.0	18.9	18.9	16.2	13.5	16.2	13.5	∴ 8.1	↓ 5.4	13.5
		調査数	広報活動を行うノウハウが足りない	広報活動を行うツールが少ない	回覧板や広報誌を見ない人が多い	新聞社や放送局との関係構築が必要である	広報活動を円滑に行うための資金が足りない	情報が多すぎて混乱することは多い	市町村や消防・警察等による情報があるのが遅い	市町村や消防・警察等による情報が少ない	町内会連合会と他地域組織・団体と情報共有が行われている	その他	ひとつもない
合計		145	14.5	13.8	13.1	13.1	13.1	11.0	11.0	9.0	7.6	6.2	6.9
M C F	エリア内	44	↓ 4.5	13.6	13.6	13.6	9.1	13.6	9.1	6.8	11.4	2.3	2.3
	エリア外	101	18.8	13.9	12.9	12.9	14.9	9.9	11.9	9.9	5.9	7.9	8.9
人口規模	5万以上	49	10.2	18.4	14.3	16.3	12.2	14.3	14.3	8.2	12.2	4.1	-
	1～5万未満	36	13.9	8.3	19.4	16.7	11.1	11.1	16.7	∴ 16.7	∴ 13.9	8.3	8.3
	5千～1万未満	23	21.7	17.4	4.3	13.0	21.7	8.7	8.7	4.3	-	△ 17.4	8.7
	5千未満	37	16.2	10.8	10.8	∴ 5.4	10.8	8.1	∴ 2.7	5.4	-	-	∴ 13.5

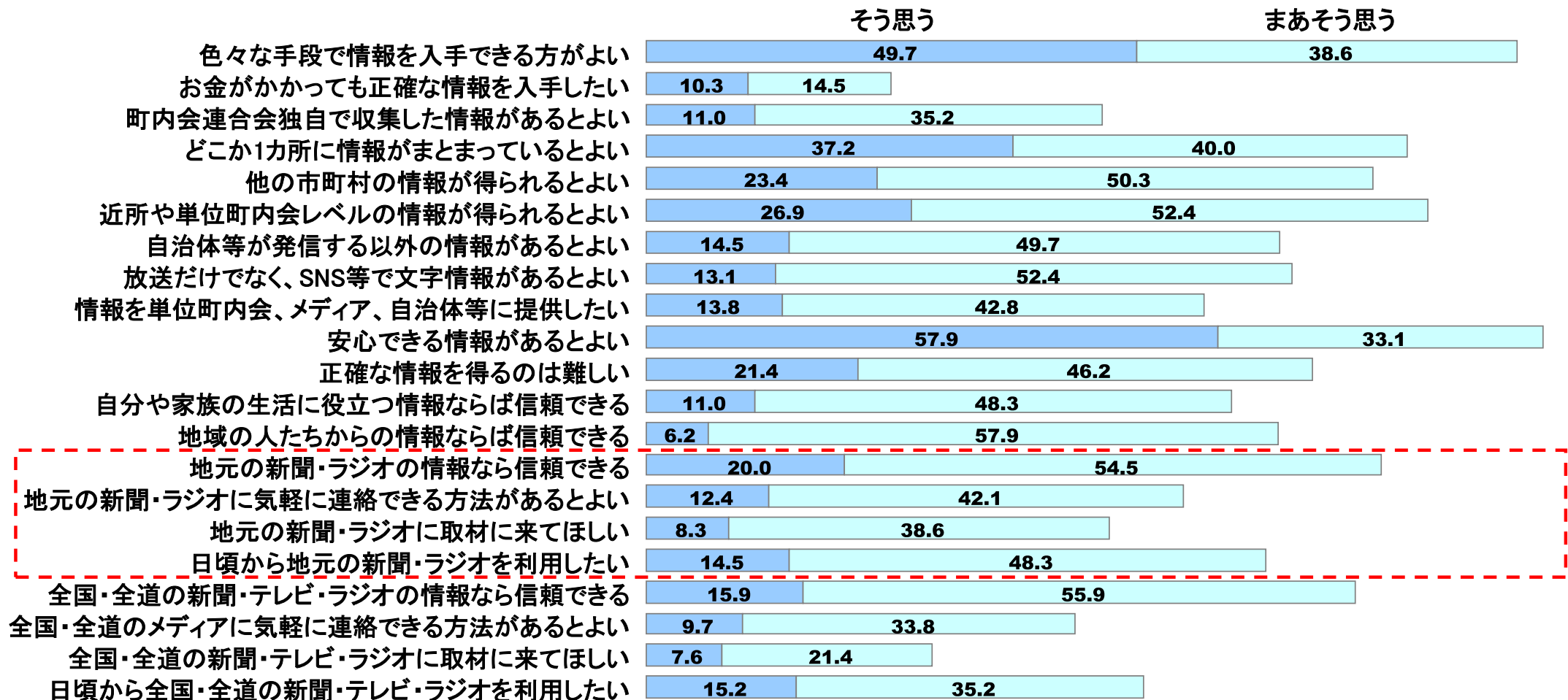
## 6. メディア評価と期待

### (1) 情報収集・共有・発信の考え

- 町内会・自治会活動における情報収集・共有・発信についての町内会連合会の考えを確認する。
- 「そう思う」が一番多いのが「安心できる情報があるとよい」(91.0)であり、次いで「色々な手段で情報を入手できる方がよい」(88.3)であり、情報の多様性と信頼性を求めていることがわかる。
- 地元メディアについては「そう思う計」で一番多いのが「地元メディアの情報なら信頼できる」(74.5)、次いで「日頃から地元の新聞・ラジオを利用したい」(62.8)となっており、地元メディアへの信頼があるとともに利用意向もあるといえる。

### 情報収集・共有・発信の考え

回答者 Base for % : 145s



# 6. メディア評価と期待

## (2) 規模別情報収集・共有・発信の考え

### 規模別でみた情報収集・共有・発信の考え(そう思う計)

単位:%

		調査数	安心できる情報があるとよい	色々な手段で情報入手できる方がよい	近所や単位町内会レベルの情報があるとよい	どこか1カ所に情報がまとまっているとよい	地元のメディア情報なら信頼できる	他の市町村の情報があるとよい	全国・全道のメディア情報なら信頼できる	正確な情報を得るのは難しい	放送だけでなく、SNS等で文字情報があるとよい	自治体等が発信する以外の情報があるとよい	地域の人たちからの情報ならば信頼できる
合計		145	91.0	88.3	79.3	77.2	74.5	73.8	71.7	67.6	65.5	64.1	64.1
M C F	エリア内	44	95.5	93.2	∴ 88.6	84.1	79.5	∴ 84.1	75.0	61.4	70.5	68.2	70.5
	エリア外	101	89.1	86.1	75.2	74.3	72.3	69.3	70.3	70.3	63.4	62.4	61.4
人口規模	5万以上	49	87.8	89.8	81.6	∴ 69.4	75.5	▽ 61.2	65.3	∴ 57.1	65.3	∴ 55.1	65.3
	1~5万未満	36	94.4	94.4	↑ 91.7	83.3	83.3	∴ 83.3	↑ 86.1	63.9	66.7	69.4	63.9
	5千~1万未満	23	91.3	91.3	69.6	78.3	65.2	∴ 87.0	60.9	73.9	56.5	52.2	▽ 43.5
	5千未満	37	91.9	↓ 78.4	∴ 70.3	81.1	70.3	73.0	73.0	↑ 81.1	70.3	↑ 78.4	∴ 75.7
合計		145	62.8	59.3	56.6	54.5	50.3	46.9	46.2	43.4	29.0	24.8	24.8
M C F	エリア内	44	△ 77.3	61.4	61.4	↑ 68.2	52.3	△ 65.9	54.5	45.5	34.1	25.0	25.0
	エリア外	101	∴ 56.4	58.4	54.5	48.5	49.5	↓ 38.6	42.6	42.6	26.7	24.8	24.8
人口規模	5万以上	49	69.4	55.1	55.1	55.1	51.0	53.1	∴ 57.1	42.9	30.6	∴ 34.7	34.7
	1~5万未満	36	∴ 75.0	58.3	66.7	△ 72.2	58.3	∴ 58.3	47.2	∴ 55.6	33.3	27.8	27.8
	5千~1万未満	23	52.2	65.2	56.5	∴ 39.1	∴ 34.8	43.5	∴ 30.4	30.4	21.7	∴ 13.0	13.0
	5千未満	37	↓ 48.6	62.2	48.6	45.9	51.4	▽ 29.7	40.5	40.5	27.0	16.2	16.2

# 6. メディア評価と期待

## (3) 情報感度の因子分析結果

- (1)の情報感度に関する21項目について因子分析を行うと、以下の3軸が得られた。
- 『メディア連携期待』では「全国・全道のメディアに取材に来てほしい」「全国・全道のメディアに気軽に連絡できる方法があるとよい」、『地域情報集約期待』では「自治体等が発信する以外の情報があるとよい」「町連独自で収集した情報があるとよい」、『情報の信頼性』は「地元のメディアの情報なら信頼できる」等でそれぞれ構成されている。

### 情報感度の因子分析結果

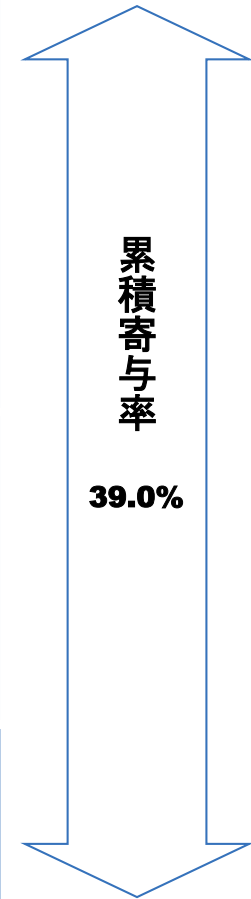
回答者 Base for % : 145s

因子 数値：因子負荷量

寄与率

メディア連携期待 固有値3.54	全国・全道の新聞・テレビ・ラジオに取材に来てほしい	0.852
	全国・全道の新聞・テレビ・ラジオに気軽に連絡できる方法があるとよい	0.728
	地元の新聞・ラジオに取材に来てほしい	0.704
	日頃から地元の新聞・ラジオを利用したい	0.675
	日頃から全国・全道の新聞・テレビ・ラジオを利用したい	0.622
	地元の新聞・ラジオに気軽に連絡できる方法があるとよい	0.532
地域情報集約期待 固有値3.23	自治体等が発信する以外の情報があるとよい	0.629
	町内会連合会独自で収集した情報があるとよい	0.594
	他の市町村の情報が得られるとよい	0.565
	色々な手段で情報を入手できる方がよい	0.558
	情報を単位町内会、メディア、自治体等に提供したい	0.555
	放送だけでなく、SNS等で文字情報があるとよい	0.514
	近所や単位町内会レベルの情報が得られるとよい	0.487
	安心できる情報があるとよい	0.398
	お金がかかっても正確な情報を入手したい	0.386
	どこか1カ所に情報がまとまっているとよい	0.366
情報の信頼性 固有値1.43	地元の新聞・ラジオの情報なら信頼できる	0.609
	自分や家族の生活に役立つ情報ならば信頼できる	0.498
	地域の人たちからの情報ならば信頼できる	0.471

メディア連携期待 <b>16.9%</b>
地域情報集約期待 <b>12.4%</b>
情報の信頼性 <b>5.3%</b>



バリマックス回転  
による結果

# 6. メディア評価と期待

## (4) 規模別の情報感度

- (3)で得られた3軸を規模別に集計して、地区・規模別の情報感度の違いを確認する。
- コミュニティFM局可聴エリア内では「メディア連携」「地域情報集約」「情報の信頼性」のスコアがいずれも高い。
- 人口規模別では「5万以上」で「情報の信頼性」、「1～5万未満」では「メディア連携」「地域情報集約」がそれぞれ高く、一方で「5千～1万未満」「5千未満」といった小規模自治体では「情報の信頼性」「地域情報集約」「メディア連携」のスコアがいずれもマイナスであった。

規模別でみた情報感度 数値：因子得点

因子軸		メディア連携期待	地域情報集約期待	情報の信頼性
軸				
コミュニティFM局 放送エリア	エリア内 N=44	0.07	0.12	0.12
	エリア外 N=101	-0.03	-0.05	-0.05
人口規模	5万以上 N=49	0.01	0.04	0.13
	1～5万未満 N=36	0.20	0.21	0.08
	5千～1万未満 N=23	-0.18	-0.24	-0.32
	5千未満 N=37	-0.10	-0.10	-0.05

# 7. 情報収集・共有・発信の課題

## (1) 情報評価別分布

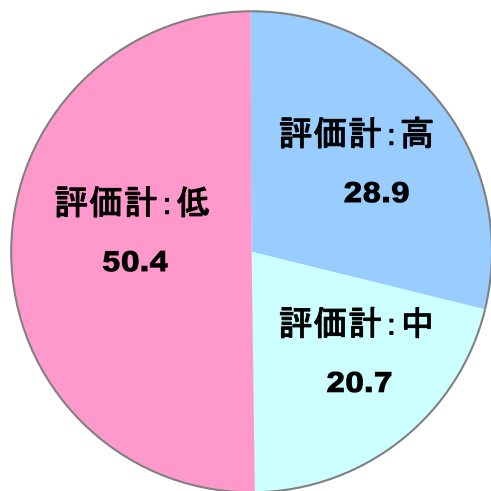
- 以下では収集情報の評価を軸にした分析を行う。
- 具体的には「胆振東部」と「新型コロナ」において町内会連合会として収集した情報が「役に立った」～「役に立たなかった」を得点化して、その高・中・低で確認する。
- 評価「高」で多いのは「5万以上」「石狩」、「低」で多いのは「コミュニティFM可聴エリア外」「5千未満」であった。

### 収集した情報の評価

単位：%

【算出方法】

- ・ 問6「胆振東部地震で収集した情報」について「非常に役立った」を5点～「まったく役に立たなかった」を1点の5段階で設定。
- ・ 問10「新型コロナ」についても同様。
- ・ 問6、問10を計10点満点(最低点は2点)として、両方の回答者を対象に集計。
- ・ 「評価高」:10点～8点、「中」:7点、「低」:2点～6点にクラス分け。



回答者 Base for % 胆振&コロナ評価者ベース: 135s

### 規模別でみた収集情報の評価

単位：%

	調査数	CFM可聴		人口規模				
		エリア内	エリア外	5万以上	1～5万未満	5千～1万未満	5千未満	
合計	135	30.4	69.6	34.8	25.2	15.6	24.4	
評価	高 8～10	39	↑ 43.6	↓ 56.4	▲ 56.4	28.2	▽ 2.6	↓ 12.8
	中 7	28	39.3	60.7	↑ 50.0	∴ 14.3	∴ 25.0	↓ 10.7
	低 2～6	68	▽ 19.1	△ 80.9	▼ 16.2	27.9	19.1	△ 36.8
差(高一低)			24.5	-24.5	40.2	0.3	-16.5	-24.0

	調査数	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	
合計	135	7.4	29.6	4.4	6.7	6.7	6.7	3.7	
評価	高 8～10	39	10.3	▲ 51.3	2.6	10.3	7.7	2.6	0.0
	中 7	28	3.6	35.7	3.6	7.1	3.6	7.1	0.0
	低 2～6	68	7.4	▼ 14.7	5.9	4.4	7.4	8.8	∴ 7.4
差(高一低)			2.9	36.6	-3.3	5.9	0.3	-6.2	-7.4

	調査数	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	
合計	135	3.7	2.2	3.7	10.4	5.9	5.2	3.7	
評価	高 8～10	39	2.6	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	5.1
	中 7	28	7.1	0.0	0.0	3.6	↑ 14.3	7.1	7.1
	低 2～6	68	2.9	4.4	∴ 7.4	14.7	5.9	7.4	1.5
差(高一低)			-0.3	-4.4	-7.4	-7.0	-5.9	-7.4	3.6

## 7. 情報収集・共有・発信の課題

## (2) 平時における情報評価別の運営上の課題

- 平時における町内会連合会の運営における課題を評価「高／低」の比較から確認する。
- 評価「高」の課題として大きいのは「広報誌等を編集できる人が少ない」「広報活動を行うスキルが足りない」「町連の活動を知ってもらう工夫が必要」等である。
- 評価「低」で大きいのは「単町と町連の連携が弱い」等であった。

## 「平時」における情報評価別の運営上の課題

単位：%

	評価			差 評価高一評価低
	高 N=39	中 N=28	低 N=68	
広報誌等を編集ができる人が少ない	43.6	32.1	17.6	26.0
広報活動を行うスキルが足りない	41.0	35.7	17.6	23.4
町内会連合会の活動を知ってもらう工夫が必要である	53.8	53.6	32.4	21.4
町内会連合会と単位町内会との間で情報共有が行われている	59.0	50.0	38.2	20.8
回覧板や広報誌を見ない人が多い	51.3	46.4	30.9	20.4
町内会連合会と他地域組織・団体と情報共有が行われている	28.2	3.6	8.8	19.4
市町村や消防・警察等との情報共有体制を構築されている	35.9	21.4	19.1	16.8
住民から単位町内会や町内会連合会へ情報伝達する仕組が弱い	35.9	25.0	20.6	15.3
市町村や消防・警察等による情報が少ない	12.8	10.7	2.9	9.9
単位町内会や町内会連合会の活動が住民に周知されていない	33.3	39.3	23.5	9.8
広報活動を行うツール(パソコン、プリンタ)が少ない	25.6	17.9	16.2	9.4
地域へ取材ができる人が少ない	30.8	39.3	22.1	8.7
ホームページやSNSによる情報発信が少ない	35.9	60.7	29.4	6.5
広報活動を行うノウハウ(取材や編集の方法等)が足りない	25.6	35.7	19.1	6.5
新聞社や放送局との関係構築が必要である	10.3	7.1	4.4	5.9
広報活動を円滑に行うための資金が足りない	17.9	28.6	13.2	4.7
市町村や消防・警察等による情報が来るのが遅い	7.7	14.3	5.9	1.8
地域の動向を十分に発信できていない	17.9	28.6	20.6	▲ 2.7
情報が多すぎて混乱することは多い	0.0	7.1	4.4	▲ 4.4
単位町内会と町内会連合会との連携が弱い	12.8	14.3	22.1	▲ 9.3



# 7. 情報収集・共有・発信の課題

## (3) 有事における情報評価別の運営上の課題

- 有事における町内会連合会の運営における課題を評価「高／低」の比較から確認する。
- 評価「高」の課題として大きいのは「広報誌等を編集できる人が少ない」「市町村や消防・警察等による情報が来るのが遅い」「情報が多すぎて混乱することは多い」等である。
- 評価「低」で大きいのは「単町と町連の連携が弱い」等であった。

### 「有事」における情報評価別の運営上の課題

単位：%

	評価			差 評価高一評価低
	高 N=39	中 N=28	低 N=68	
町内会連合会と単位町内会との間で情報共有が行われている	35.9	21.4	14.7	21.2
<b>広報誌等を編集ができる人が少ない</b>	33.3	17.9	13.2	20.1
<b>市町村や消防・警察等による情報が来るのが遅い</b>	23.1	10.7	5.9	17.2
<b>情報が多すぎて混乱することは多い</b>	20.5	14.3	4.4	16.1
<b>住民から単位町内会や町内会連合会へ情報伝達する仕組が弱い</b>	30.8	25.0	16.2	14.6
<b>広報活動を行うスキルが足りない</b>	25.6	21.4	11.8	13.8
町内会連合会と他地域組織・団体と情報共有が行われている	17.9	0.0	4.4	13.5
<b>回覧板や広報誌を見ない人が多い</b>	17.9	21.4	7.4	10.5
<b>広報活動を円滑に行うための資金が足りない</b>	17.9	17.9	7.4	10.5
単位町内会や町内会連合会の活動が住民に周知されていない	17.9	28.6	8.8	9.1
<b>広報活動を行うツール(パソコン、プリンタ)が少ない</b>	20.5	10.7	11.8	8.7
<b>地域へ取材ができる人が少ない</b>	25.6	35.7	17.6	8.0
町内会連合会の活動を知ってもらう工夫が必要である	20.5	21.4	13.2	7.3
市町村や消防・警察等との情報共有体制を構築されている	25.6	21.4	19.1	6.5
<b>市町村や消防・警察等による情報が少ない</b>	12.8	10.7	7.4	5.4
<b>新聞社や放送局との関係構築が必要である</b>	15.4	17.9	10.3	5.1
<b>ホームページやSNSによる情報発信が少ない</b>	25.6	42.9	22.1	3.5
<b>広報活動を行うノウハウ(取材や編集の方法等)が足りない</b>	15.4	17.9	13.2	2.2
<b>地域の動向を十分に発信できていない</b>	15.4	32.1	19.1	▲3.7
<b>単位町内会と町内会連合会との連携が弱い</b>	20.5	39.3	29.4	▲8.9

# 7. 情報収集・共有・発信の課題

## (4) 情報評価別の情報感度

- ここでは情報評価の高～低の3軸を集計して、各々の情報感度の違いを確認する。
- 評価「高」では「メディア連携」「地域情報集約」「情報の信頼性」のスコアがいずれも正であり、前二者は特に高い。
- 評価「中」では「情報の信頼性」が特に高く、評価「低」は「メディア連携」「地域情報集約」「情報の信頼性」のスコアがいずれも低く負であった。

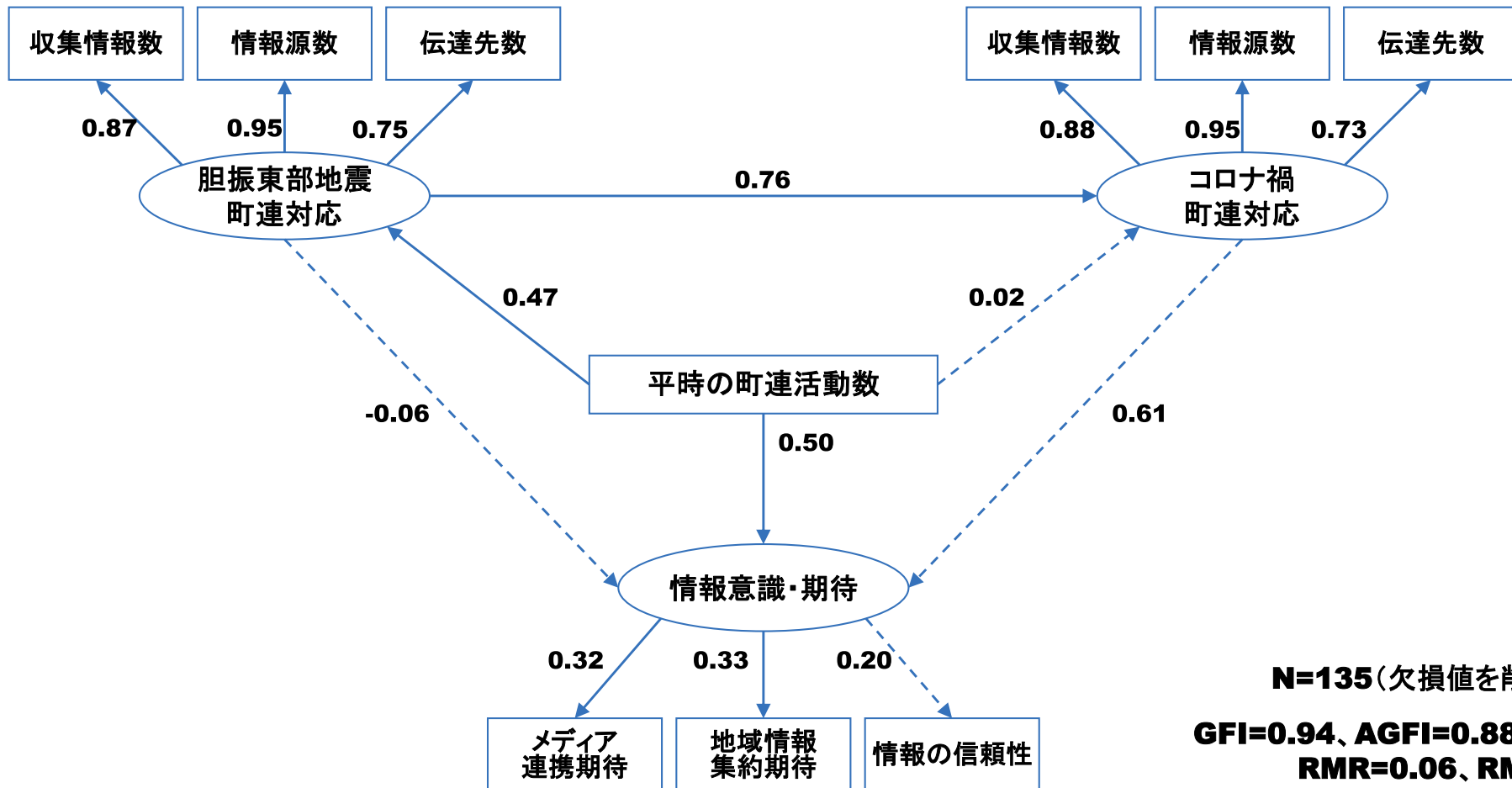
情報評価別でみた情報感度 数値: 因子得点

因子軸		メディア連携期待	地域情報集約期待	情報の信頼性
軸				
情報評価	高 N=39	0.24	0.20	0.04
	中 N=28	0.00	0.00	0.16
	低 N=68	-0.15	-0.18	-0.11

# 7. 情報収集・共有・発信の課題

## (5) 情報収集・共有・発信のプロセス

- 以下は共分散構造分析(要素間の相関と因果を同時に決定する)を行うことで、『胆振東部町連対応』-『コロナ禍町連対応』-『情報意識・期待』の関連を示した図である。
- ストーリーとしては「平時に町連活動数」が『胆振東部町連対応』へつながり、この地震で対応した町連が今般の『コロナ禍町連対応』を可能としていることが考えられる。また、『情報意識・期待』は2つの有事から形成されたものではなく、あくまでも平時の活動から意識・期待が形成されたものであることをこの分析結果は示している。



N=135(欠損値を削除したため)

GFI=0.94、AGFI=0.88、CFI=0.97  
 RMR=0.06、RMSEA=0.07

実線:有意水準5%未満

# 8. 連携による情報収集・共有・発信へ

## (1) 胆振東部地震時の情報評価

- 最後に情報源・伝達先と情報評価の関連から情報収集・共有・発信体制に向けた展開を検討する。
- 胆振東部地震における情報評価が高い町連では情報源で「自治体防災情報メール」(33.5pt.)、「町内会連合会」(21.5pt.)、一方で低いのは「他ラジオ」(-30.4pt.)、「地元の新聞・雑誌」(-10.0pt.)とメディアがあがった。
- 同様に情報伝達先でも確認すると、「行政機関」(13.5pt.)、「町内会、近所」(12.7pt.)、「町連」(11.9pt.)と行政+住民組織が情報源では評価が高く、「伝えなかった」(-9.3pt.)は評価が低かった。

	情報源			差 評価高-評価低
	高 N=36	中 N=17	低 N=17	
自治体防災情報メール	80.6	47.1	47.1	33.5
町内会連合会	33.3	11.8	11.8	21.5
テレビ局	44.4	41.2	29.4	15.0
他行政機関(警察等)	16.7	0.0	11.8	4.9
SNS	2.8	0.0	0.0	2.8
インターネット掲示板	8.3	5.9	5.9	2.4
ひとつもない	0.0	0.0	0.0	0.0
地元のラジオ局	8.3	17.6	11.8	▲3.5
町内会、近所の人たち	41.7	58.8	47.1	▲5.4
その他新聞社	11.1	0.0	17.6	▲6.5
地元の新聞・雑誌	19.4	5.9	29.4	▲10.0
他ラジオ(NHK、HBC等)	16.7	29.4	47.1	▲30.4

	情報伝達先			差 評価高-評価低
	高 N=36	中 N=17	低 N=17	
行政機関(警察等)	19.4	23.5	5.9	13.5
町内会、近所の人たち	83.3	88.2	70.6	12.7
町内会連合会	47.2	41.2	35.3	11.9
地元の新聞・雑誌	0.0	0.0	0.0	0.0
テレビ局	0.0	0.0	0.0	0.0
地元のラジオ局	0.0	5.9	0.0	0.0
他ラジオ(NHK、HBC等)	0.0	0.0	0.0	0.0
SNS	0.0	0.0	0.0	0.0
インターネット掲示板	0.0	0.0	0.0	0.0
伝えなかった	8.3	5.9	17.6	▲9.3

# 8. 連携による情報収集・共有・発信へ

## (2) 新型コロナでの情報評価

- 次いで新型コロナウイルス下での情報評価が高い町連では情報源で「自治体の情報メール」(23.0pt.)、「テレビ局」(22.7pt.)、「町内会連合会」(19.7pt.)、一方でやや低いのは「地元のラジオ」(-3.5pt.)であった。
- 情報伝達先をみると、「町内会、近所」(35.3pt.)、「町連」(23.8pt.)と住民組織が情報源では評価が高く、「伝えなかった」(-10.8pt.)は評価が低かった。

### 情報源

単位：%

	評価			差 評価高 - 評価低
	高 N=36	中 N=22	低 N=22	
自治体の情報メール	63.9	27.3	40.9	23.0
テレビ局	50.0	36.4	27.3	22.7
町内会連合会	33.3	22.7	13.6	19.7
インターネット掲示板	19.4	9.1	4.5	14.9
他行政機関(警察等)	19.4	31.8	9.1	10.3
町内会、近所の人たち	41.7	50.0	31.8	9.9
その他新聞社	22.2	9.1	18.2	4.0
地元の新聞・雑誌	30.6	31.8	27.3	3.3
他ラジオ(NHK、HBC等)	11.1	9.1	9.1	2.0
SNS	5.6	4.5	4.5	1.1
ひとつもない	0.0	0.0	0.0	0.0
地元のラジオ局	5.6	9.1	9.1	▲3.5

### 情報伝達先

単位：%

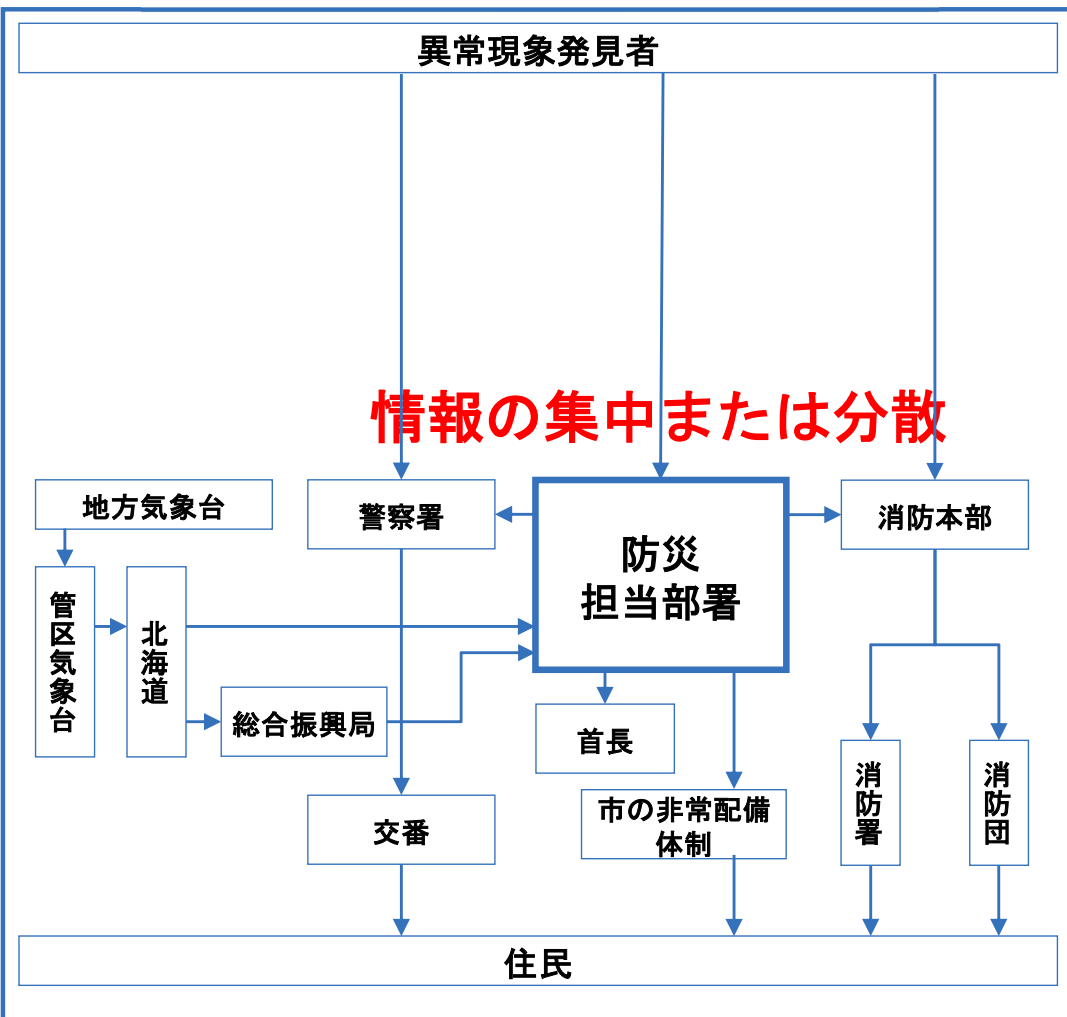
	評価			差 評価高 - 評価低
	高 N=36	中 N=22	低 N=22	
町内会、近所の人たち	94.4	63.6	59.1	35.3
町内会連合会	55.6	72.7	31.8	23.8
テレビ局	0.0	0.0	0.0	0.0
地元のラジオ局	0.0	0.0	0.0	0.0
他ラジオ(NHK、HBC等)	0.0	0.0	0.0	0.0
SNS	0.0	0.0	0.0	0.0
インターネット掲示板	0.0	4.5	0.0	0.0
行政機関(警察等)	8.3	0.0	9.1	▲0.8
地元の新聞・雑誌	0.0	4.5	4.5	▲4.5
伝えなかった	2.8	9.1	13.6	▲10.8

# 8. 連携による情報収集・共有・発信へ

## (3) 連携体制構築に向けて

- 有事における情報収集・共有・発信への評価を高めるために「住民組織と(地元メディア)」との連携による体制構築を提言する。
- 従来は左側にあるように異常現象発見者はそのほぼ全てが行政機関へ情報を伝達するかたちになっており、情報の集中・分散による行政機関の過度な負担が生じ、住民への情報整理・発信の遅延可能性が懸念されている。
- そこで官／民の役割分担による情報収集・共有・発信を実現するために、住民組織が行政機関や地元メディアとの連携体制を以下のように構築することで、官民連携による効果的な情報収集・共有・発信が可能になると考える。

### 行政機関へ情報が集中・分散／過度な負担



### 地域・住民の情報を住民組織で収集・共有・発信

